

令和6年度 さいたま市立新開小学校 第2回学校運営協議会 議事録

◇ 日時

令和6年11月16日(土) 8:45~9:50

◇ 場所

会議室

◇ 参加者

	氏名(ふりがな)	性別	役職等
1	小林 喜雄(こばやし よしお)	男	青少年育成新開地区会相談役
2	前田 三恵子(まえだ みえこ)	女	青少年育成新開地区会副会長
3	大貫 充(おおぬき みつる)	男	青少年育成新開地区会会長
4	林 大悟(はやし だigo)	男	青少年育成新開地区会副会長
5	田中 輝明(たなか てるあき)	男	ラミーユ浦和防犯ボランティア
6	屋代 光昭(やしろ みつあき)	男	新開自治新和会長
7	宮田 隆司(みやた りゅうじ)	男	桜田2丁目防犯ボランティア
8	小島 美穂子(こじま みほこ)	女	新開2丁目防犯ボランティア
9	海藤 貴子(かいどう たかこ)	女	新開小学校図書ボランティア会長
10	坂下 三浩(さかした みつひろ)	男	新開小学校PTA会長
11	武田 亜寿香(たけだ あすか)	女	新開小学校前PTA副会長
12	岡田 健彦(おかだ たけひこ)	男	校長
13	宇野 直記(うの なおき)	男	教頭
14	霜垣 良輔(しもがき りょうすけ)	男	教務主任
15	山野井 幸夫(やまのい さちお)	男	学校地域連携コーディネーター

※欠席者 なし

◇ 内容

- 1 校長あいさつ
 - 2 公開授業案内
 - 3 「よりよい学校づくり」等に向けた児童からの提案
 - ・校長より、児童が学校運営に参画することの趣旨説明
 - ・児童会で話し合った3つの提案
- ① 全校お別れ遠足
 - ② 児童主体のしびらきっこ祭りの開催
 - ③ 外国の方との交流

4 青少年赤十字加盟

5 熟議

今年度の熟議テーマ

「児童、保護者、地域、教職員が『学校を運営する当事者』となるために、学校運営協議会としてどのような働きかけができるか」

6 令和6年度学校関係者評価

7 諸連絡

- ① 地域の方のスクリレ導入の是非
- ② 来年度以降の第2回の会議の日時設定

※終了後、校内授業参観（9：50～11：35）

閉会

【議事詳細】

議 事	発言者	発言内容	回 答
1 校長 あいさ つ	校長	熟議を通して、それぞれの立場から学校運営上の課題を出す。 第3回では、次年度の経営方針を出していく。 そのための材料をだしていただきたい。 青少年赤十字の話も後ほどします。 学校は、自治会長をはじめ、PTA など様々な立場で支えられている 具体的な形にして、前に動かす。	
2 公開授 業案内	教務	4年生は、学年全体での音楽発表会がある。 特別支援学級では、親子で調理実習を行います。	
3 「よりよ い学校づく り」等に向 けた児童か らの提案	校長	令和4年施行子ども基本法 子どもをど真ん中 今日は、実際に子どもが意見を出す。 意見を聞いて、熟議をしていただく	
	児童会 副会長 木村さ ん	明るい学校にしていきたい。 あいさつができる 声をかけあえる 誰もが仲よく 学校づくりをわたしたちも進めていきたい	
	児童会 会長 朝倉さ ん	1つめ しびらきっ子まつりのこどもバージョン 少しでも行事を増やしたい 2つめ お別れ遠足で、最後を締めくくりたい 3つめ 外国の方との交流会 外国の方への理解を深めることができる。	
	坂下委 員	ぜひ、おまつりの実現を目指して頑張ってください。	
4 青少年 赤十字加盟 に 5 熟議	校長	青少年赤十字 学校ごとに加盟をしている。 総合的な学習などで参加して取り組んでいくことに意義がある のではないか。 世界の国々との交流 災害・防災教育 クリーンパトロール 福祉 ユネスコスクールの取組につながる 仲町小の取組 特別活動 原山小の取組 特別活動	
	坂下委 員	しびらきっ子祭りは、引き続き継続可能か	

教務	教育課程への位置付けが重要となる。
林委員長	児童会の委員会で、しびらきっ子祭り委員会ができない。
武田委員	外国の方との交流は、既に区内でも進めている。赤十字と絡めてできないか
校長	現在行っている教育活動を裏付けることにもなる。 教育活動の充実のための資金を捻出させるというメリットもある。 学校は働き方改革が進んできている いろんな工夫で時間を捻出している。 例：45分の授業の分割
小林委員	45分の授業は、学校単位で変更できるのか。
校長	文科省は今年から出している。40分授業もできる。 しかしながら、年間の総時数は変わらないので、削った5分をどこかに組みこむ必要がある。 授業の深まりを考えると45分の方がいい。
屋代委員	3つめの外国の方との交流はどんなイメージでいるか。
霜垣委員	この意見が出た経緯は、昨年度の姉妹校の教員の来校があったためと考える。
校長	児童会によると、せっかく学んだ英語を使える場がない。活用できる場を作ってほしいとのこと。
屋代委員	今月2日に国際交流をやった。ネパールなど。桜区長もきた桜区に3500人強いる。招いてもいいのではないか。
海藤委員	赤十字の広報誌はいい。 新開小が加盟したら、交流のきっかけづくりをしてもらえるのか？
校長	その通りです。何らかの形でできる。問題が一つある。外国人ってどういう人？って聞くと、子どもは英語圏と捉えている。しかしながら、近隣に多いのは、韓国人、ベトナム人などアジア系がほとんどであることが児童のニーズとマッチしていない。
武田委員	仕事でやっている。やさしい日本語。区内は、8割近いのがアジア圏
林委員長	加盟についてはメリットが多い。よって、加盟することによっていいでしょうか。(⇒全会一致で承認)
校長	政治的にも宗教的にも問題はない。運営資金もないのでメリットが多い。
海藤委	図書ボランティアの読み聞かせがこの後、あります。

	員	
	坂下	文化祭というネーミングがいい。
		国際ブースがあると、③もかなえられる。小中の橋渡しができる
		在校児童の出身国を紹介するブースがあってもいいのでは。
		ゆうげん会からのご提案。いちごがりの無料券を卒業生に。在校生には500円割引券を。 その他、大型卒業証書パネルを正門前において写真スポットにしたい。 社長としては、新開小学校とつながりを密にしたい。
	林委員	お別れ遠足は可能かどうか
	教務	遠足の実施は、給食回数にからむ。
	校長	非公式で、サッカー大会は今年度いっぱい。
	屋代委員	全校遠足はユネスコスクールの取組なのか
	校長	その通りです。
	海藤委員	遠足でなくてはならない理由は？
	田中委員	もっとこどもの声をきいて実施の判断をしてはどうか。
6 令和6年度学校関係者評価	教務	学校評価アンケートについて
7 諸連絡	教頭	